興世盛開教総長 葬儀 お念仏の声とともに

興世盛智海第14代開教総長の葬儀が、松本エリック開教総長導師の下、4月30日にハワイ別院で勤められた。本堂、アネックスに400人以上のハワイ、日本、アメリカ本土からの参列があった。各開教使教学会からの代表者が内陣出勤し、ご栄葬院号「慈光院」の授与にはじまり、正信偈のお勤めの中、各代表者の焼香が行われ、松本総長からのメッセージが届けられた。同僚であった安満先生やお孫さんなどからの思い出話しがあり、一同は興世盛先生の人柄に笑み、涙を分かち合った。興世盛先生のご希望により「聖夜」の英語版がうたわれ、恩徳讃、念仏の声が満堂の本堂に響渡した。

興世盛先生はワイパフの地に1932年3月1日にご誕生された。その後慶應大学をご卒業後、龍谷大学で真宗学修士課程を修了され、1964年からマウイのパイア本願寺で開教使としてのお勤めがはじまった。マカワオ、慈光園本願寺を歴任され、1996年から2007年まで第14代開教総長として勤められた。パシフィック・ブッディスト・アカデミー（PBA）の創設にも尽力され、教育に力を注がれた。そして、2016年4月13日、84歳にて往生の素懐を遂げられた。

花は種を因に、水、光などを縁として花を咲かせる。花の美しさを知る人は、因と縁の尊さを知る。花はその生涯を終え、大地に抱きとられ、次にいのちを伝える。興世盛先生は私に種を残してくださった。今度は私の番である。授かった種を因縁を通して育て、花を咲かせるのである。「お浄土にまたひとつ、蓮の華が咲きました」と誰かがいった。蓮はさとりを意味し、お浄土で仏になることである。興世盛先生は84年の御生涯を生き、お浄土に生まれ仏となられた。そして、今、私を導いてくださっている。私がいただいたのは種だけではなかった。仏さまの慈悲と智慧である南無阿弥陀仏、お念仏という花を私はいただいていた。ハワイに、世界に、私の人生にお念仏の花を咲かせよう。別れても離れても、同じお念仏の花をいただく喜びがある。

護持

護持（月刊）
発行所
本派本願寺ハワイ別院 1727 Pali highway,
Honolulu HI, 96813
Tel: (808)536-7044
E-Mail: hibetsuin@hawaii.rr.com

萩尾豊一開教使

「死亡率１００％」

「弱り目に祟り目」という 諺 をご存知ですか？　不幸は続くものだと云う事です。先頃、日本から「母が危篤」と言う連絡があり直ぐに日本へ行きました。透析治療が出来なくなり、二、三日の命だろうと言う事でしたが一 週間経っても迎えが来ず、その間に熊本地震が二度も起こり恐ろしい思いをしました。地震は夜中に起こり正に土台から崩れる思いがして、真っ暗闇の中で死ぬのではないかと恐怖を感じた次第です。その後、余震が続いている時、母は息を引き取りました。こうゆう事が続くと自分の「死」に対してもう一度じっくり 考える時ではないかと思います。

どんな人間にとっても、決して無視することが出来ない問題がある。それは「生まれた以上は、必ず死ななければならない」という厳然たる事実です。御存知のように御文章の白骨の章には「われや先、人や先、今日ともしらず、明日ともしらず、おくれさきだつ人は、もとのしずく、すえの露よりもしげしといへり」と示されている。これを最初に読んだ時は、深い感動をしたものですが、度重なると共に、「我や先、人や先」と頂かず「人や先、人や先、我や後、我や後」と勝手に解釈して、横着にも安閑としているものです。この「生まれたからには、必ず死がある」とは換言すれば「人間の死亡率は１００％である」と言うことで、これは何も人間だけでなく、あらゆる生き物、存在もいつの日か消え去るのです。

そして、我々人間のみが、この死の自覚を持っているのです。これに目覚めた時に、人間は次の三つの事を考え求めて行くのです。

第一は、この世に於ける不老長寿、更に不死を求める。

第二は、死からなるだけ顔をそむけて、生きている現実のこの世の意義だけに夢中になって、それを追いかけ求めるのである。

第三は、死後の世界に於ける、永遠の生命の獲得を追及する。

皆さんはどの立場で生きておられますか？今後、どんなに文明が発達したとしても、一人の人間でも永遠に生きられる時代は絶対来ないのです。そこに、真実の世界、未来に於ける永遠の生命を願うものです。浅原才市さんの詩に、

「死ぬるは浮世のきまりなり、死なぬのは浄土のきまりなり　これがたのしみ　ナムアミダ仏
死ぬる身を　死なぬ身の　ナムアミダ仏にしてもらい」

合掌

6月14-16日（火-木）　開教使セミナー@カウアイ

20-23日（月-水）盆ダンス練習

24、25日（金土）ハワイ別院盆ダンス　午後6時から10時半

7月3日（日）盆サービス

ご講師　高橋和法先生（リフエ本願寺）

盆のお参りについて

昨年に続いて、次のように週末に合同のお盆参りをお勤めします。亡き方を偲び、思うご縁を通し、私たちに届いている仏さまの願いを共に聞かせていただきましょう。

合同お盆参り礼拝

7月16日（土）午前10時、午後5時

7月23日（土）午前10時、午後5時

合同初盆参り礼拝

7月17日（日）午後5時

7月24日（日）午後5時

別院オフィスへ、お参りされる礼拝の時間、曜日を事前にお知らせください。

また、家族だけでのお参りもお勤めさせていただきます。詳しくは別院オフィスまでご連絡をお願いいたします。

初盆とは、人を亡くして初めて迎えるお盆のことです。悲しさ、辛さの中に、亡き方と私たちをやさしく包み込む仏さまのぬくもりを感じさせていただきます。

初盆の礼拝では、亡き方のお写真をスクリーンに映します。ご希望の方は別院オフィスまで写真の提出をお願いいたします。

熊本の地震で被害にあわれた方へのサポートをお願いしております。チェックの場合は、ハワイ別院宛てに、Kumamoto Earthquake Relief Fundをメモ欄にお願いいたします。いただいたご寄附は本願寺の本山と日本領事館へと送られます。皆様のご協力をお願い申し上げます。hongwanjihawaii.comでも寄附ができます。

浄土真宗の救いのよろこび

阿弥陀如来の本願は　かならず救うまかせよと　南
無阿弥陀仏のみ名となり　たえず私によびかけます
このよび声をききひらき　如来の救いにまかすとき
永遠に消えない灯火が　私の心にともります

如来の大悲に生かされて　御恩報謝のよろこびに
南無阿弥陀仏を称えつつ　真実の道を歩みます　こ
の世の縁の尽きるとき　如来の浄土に生まれては
さとりの智慧をいただいて　あらゆるいのちを救い
ます　宗祖親鸞聖人が　如来の真実を示された
浄土真宗のみ教えを共によろこび広めます

『拝読　浄土真宗のみ教え』より

岡野紀子先生の生け花・書道クラスの展示会

Splendor of an evening sky, filled with countless stars, who can ever fathom its timeless mystery? Million eyes, when sparkling bright, in the sable sky, touch my heart, my lonely heart, with serenity. *Splendor Of An Evening Sky*

6月のご法縁

6月5日	午前8時 午前10時 午後1時	日本語礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	禿定心開教使 富岡智使開教使 萩尾豊一開教使
6月12日	午前8時 午前10時 午後1時	日本語礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	武田龍精先生 初瀬部唯可開教使 禿定心開教使
6月19日	午前8時 午前10時 午後1時	日本語礼拝 合同英語家族礼拝 日中日本語礼拝	富岡智史開教使 萩尾豊一開教使 初瀬部唯可開教使
6月26日	午前8時 午前10時 午後1時	日本語礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	初瀬部唯可開教使 アーサーカウフマン開教使 萩尾豊一開教使

萩尾先生による仏教クラスが開かれます。タイトルは、How to celebrate your end of life?-by using a coffin to simulate death, and stare at life– です。５月２７日、６月３日、１０日、１７日の金曜日、午後一時からアネックスであります。棺桶体験、自分史の作成、などを通し、私達の生と死、そしていのちを考えます。詳しくは事務所まで。

伝灯奉告法要のご案内

親鸞聖人より続く浄土真宗のみ教えを、第25代専如ご門主様が受け継がれました。その法要が本願寺で開かれます。海外指定の法要があります。法要のほかに観光、真宗関連の歴史ある場所への訪問を含めた一週間ほどの旅行です。詳しくは初瀬部開教使まで。法要日　2017年3月31日

KZOO放送　本願寺アワー　毎週土曜日午前7時半より AM 1210

6月4日　禿定心開教使（ハワイ別院）

6月11日　川路広美引退開教使

6月18日　古澤伸吾開教使（ホノカア本願寺）

6月25日　西山真道開教使（慈光園本願寺）

結婚式などのお祝い事や亡き方を偲ぶことを通し、仏様のお話しを聞かせていただきませんか。スポンサー料は100ドル以上です。お申込みは禿開教使まで。お話の先生は変わることもあります。(808)536-7044

訪問のご案内

ハワイ別院では、お寺へのお参りが出来ない方、病院にいる方などへの訪問をしております。ご存知の方がおられましたら、ご連絡をお願いいたします。